

# 下松市・報道発表（配布）資料

令和8年1月8日

部 課 名	課 長	担 当	連 絡 先（直通）
消防本部 予防課	西坂 信浩	三藤 恭介	4 5 - 1 8 8 2
教育委員会 生涯学習振興課	戸高 孝文	市山 寛子	4 5 - 1 8 7 0
1. 件 名	「第72回文化財防火デー」にあわせて実施する関伽井坊多宝塔の立入検査について		
2. 日 時	令和8年1月26日（月） 10時00分開始		
3. 場 所	関伽井坊 及び 関伽井坊多宝塔		
4. 主催者	・下松市消防本部 ・下松市教育委員会		
5. 目 的	本市には、国指定重要文化財の関伽井坊多宝塔をはじめ、県や市の指定を受けた文化財が数多く存在します。 これらの貴重な文化財を守るため、消防点検を実施し、文化財保護を図ることを目的としています。		
6. 内 容	関伽井坊多宝塔の立入検査 10:00～10:30 <u>※多宝塔の屋根劣化に対する応急処置中のため、例年実施している放水訓練は行いません。</u>		
7. 問合せ	(1) 立入検査について 市消防本部予防課 ☎ 4 5 - 1 8 8 2  (2) 関伽井坊多宝塔について（別紙のとおり） 市教育委員会生涯学習振興課 ☎ 4 5 - 1 8 7 0		
8. そのほか			

## 第 72 回 文化財防火デー

昭和 24 年 1 月 26 日、奈良県にある法隆寺の金堂が火災に遭い、1,000 年以上も昔から大切に守られてきた文化財が、一瞬にして失われました。

以後、二度とこのような火災を起こさないよう、毎年 1 月 26 日を「文化財防火デー」と定め、多くの人に文化財を守り、大切にする心を養ってもらおうと運動が始まりました。

下松市にも国指定重要文化財の「関伽井坊多宝塔」や県・市の指定を受けた文化財がたくさんあり、その多くが燃えやすい素材である木や紙などで作られています。これらの文化財を守るためにも、周辺での焚き火や喫煙は禁止されています。

国指定重要文化財

**関伽井坊多宝塔**

つけたり  
**附 棟札 5 枚**

指 定 日	明治 40 年 5 月 27 日
所 在 地	下 松 市 花 岡 戎 町
所 有 者	関 伽 井 坊

この塔は藤原鎌足の建立 16 塔の一つと伝えられていますが、建築様式や装飾から室町時代中期から後期にかけての建造と推定されています。

方三間（429cm 四角）、二重の塔で、高さ 1,350cm、本尊金剛界大日如来が安置されています。

また、この塔は江戸時代に 5 回修理されており、この際の記録として棟札が 5 枚残っています。これら棟札も、昭和 54 年 2 月 3 日に多宝塔の附として追加指定されました。